

第29回 くまもとアートポリス推進賞



第29回「くまもとアートポリス推進賞」の審査を終えて

委員長 伊東 龍一

今年の「くまもとアートポリス推進賞」には、昨年度よりも多い、30件の応募がありました。ありがとうございました。熊本地震から9年が経過しましたが、今回も地震からの復興、復旧を課題に掲げた作品がありました。その数は少しずつ少なくなる傾向はあって、明らかに落ち着きを見せてきましたが、未だに大変な状況にある方がおいでになることも間違いありません。

さて、審査は、青木淳氏、乾久美子氏、坂口美由紀氏、富田一哉氏、中川エリカ氏と伊東の、昨年と同じ審査員6名で、1次審査、および2次審査を行いました。

1次審査では、送られてきた応募書類によって審査をし、作品を絞りました。また、現地に赴いての2次審査で確認すべきことや、是非見ておきたいこと、作品の関係者に聞いておくべきこと等を確認しました。2次審査では、現地へ赴き作品を見せて頂き、関係者のお話をうかがって、会議に臨みました。

会議の席では、審査員の間で、とくに住宅作品を巡って一般解と特殊解(個別解)といったキーワードで議論が交わされました。住宅作品に、今後広く採用されてゆくであろう汎用性のある新しい考え方やアイデアが含まれている場合、その住宅は一般解、あるいは一般解をもつ。その反対に住宅が、様々な与えられた諸条件に当てているものの、ただちにこれからの住宅に適用できるような内容を含んでいない作品もあります。それが特殊解です。

この議論がなされたのは、とくに今回応募作品の多かった一戸建ての住宅においてでした。ふだん建築設計に関与しない審査員の先生にとっても住宅は、建築の中でももっとも身近です。住宅が狭い、暗い、使いにくい、

あるいはその正反対、といったストレートな意見をぶつけたのに対し、建築家の審査員の先生方も、その意見を受けとめて、専門用語の羅列ではない言葉で考えを述べられ、まったくそれに賛同することもありましたし、そういうことはあるかもしれないけれど、一般解として評価できるのではないか、といった意見を述べられることもある、といった仕方で議論は進みました。作品ごとにこれが繰り返されました。特殊解として優れているという作品がありうるのかもしれませんが、今回の選ばれた作品にはなかったと認識しています。

そういったなかから、今年も推進賞4件、推進賞選賞3件を選ぶことができました。結果的に、アートポリス推進賞は住宅が2件、神社が1件、事務所が1件、アートポリス推進賞選賞は住宅が1件、デイサービスセンター1件、銀行支店1件となりました。選ばれた作品は、それぞれ与条件によく応えています。一方で敷地等の恵まれた条件が伸びやかな熊本県らしい建築たらしめている面もあるように見え、さらにどこかに一般解といってもいい内容を持っているのでした。それぞれの作品については、この後に記される講評をご覧頂きたいと思います。それぞれの講評も、例年そうなのですが、審査員ご自身の見解と共に、他の審査員の意見をよく取り上げて下さっています。

今回も、応募して下さった皆様に厚く御礼を申し上げます。また、現地審査では、作品関係者の皆様にご対応・ご協力を頂きました。有難うございました。そして、皆様には来年度のアートポリス推進賞にも是非ご応募いただきたくお願い申し上げます。楽しみにしております。

阿蘇神社御札所



熊本地震で甚大な被害を受けた阿蘇神社にある御札所の建て替えである。御札所そのものは被害を受けることはなかったが、旧御札所が老朽化していたことから建て替えに至ったという。敷地は重要文化財である楼門と還御門の間にあり、駐車場側からも拝殿側からも目立つ位置にある。しかしながら、機能的には御札所だけでなく待合室や装束室、倉庫などの機能もあわせた大きさが必要であり、これまでのものよりも平面的に大きくならざるを得ない。そうした矛盾した与件に対して、高さを抑える寄棟が採用されている。屋根勾配も限界まで抑えられつつわずかなむくりがつけられ、絶

妙な関係で楼門の庇と呼応関係を結びながら楼門を引き立てていることがわかる。また、多くの拝観者を受け入れる深い庇や、カウンターウェイトでバランスさせた上げ下げ窓、さらに御札の盆と一体化する建具枠をはじめとするきめ細やかな配慮がなされており、神社の活動をさりげなく支えている。現地審査も宮司の方の説明が主であり設計者は静かに傍に控えていたことが印象的だったが、そこに建築のあり方が象徴的に現れているように感じた。ディテールも居住いも美しい建築でありながら、脇役に徹することを忘れないという姿である。清々しい建築であった。(乾久美子)

事業主	宗教法人阿蘇神社
設計者	峠建築事務所
施工者	藤田社寺建設株式会社
所在地	阿蘇市一の宮町宮地3083-1
竣工年月	令和6年(2024年)11月
用途	神社
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	24,481.42㎡
建築面積	133.3㎡
延べ面積	89.67㎡



断面図



平面図

推進賞

甲佐町起業等応援施設 MEBKAS

メ
ブ
カ
ス



Photo by Sophie Korini Inada

甲佐町の中心市街地に位置する商店街の中に、地域と起業、暮らしと働くこと、自然とまちを緩やかにつなぐ公園のような「ランドスケープオフィス」として計画された起業支援施設。設計から竣工までわずか8ヶ月のスケジュール、コンテナやプレハブの活用が条件とされた制約の中で、実際にどのような施設になっているのかと現地審査に臨んだ。

甲佐町の商店街からつながる一角。道路に面して芝生スペースがあり、植栽、ベンチが配されている。その奥にプレハブユニット8基を3つのボリュームにまとめ、それらを包むように2つの大屋根が架かっている。コンテナの上にはテラ

スもあり甲佐町の豊かな自然を感じながら過ごせ、すぐ裏手には大井出川が流れ、民家が広がる中でも建物の配置など周りの風景に溶け込むよう丁寧に工夫されている。

屋根とプレハブユニットによる二重構造や植樹による日陰効果、東西の通風の確保はしてあるようだが、現地審査の日はまだ夏の暑さが厳しい時期で、県内最高気温を記録する日が多い甲佐町の厳しい暑さが少々心配された。

芝生スペースではヨガやマルシェなども開催されているとのこと。今後ますます地域の人々の交流の場として育まれることを期待したい。(坂口美由紀)

事業主	甲佐町
設計者	阿部悠子設計アトリエ
施工者	株式会社みなと
所在地	上益城郡甲佐町岩下134-1
竣工年月	令和7年(2025年)3月
用途	事務所・店舗
構造	鉄骨造
階数	地上2階建
敷地面積	513.20㎡
建築面積	183.62㎡
延べ面積	199.01㎡



配置・平面図

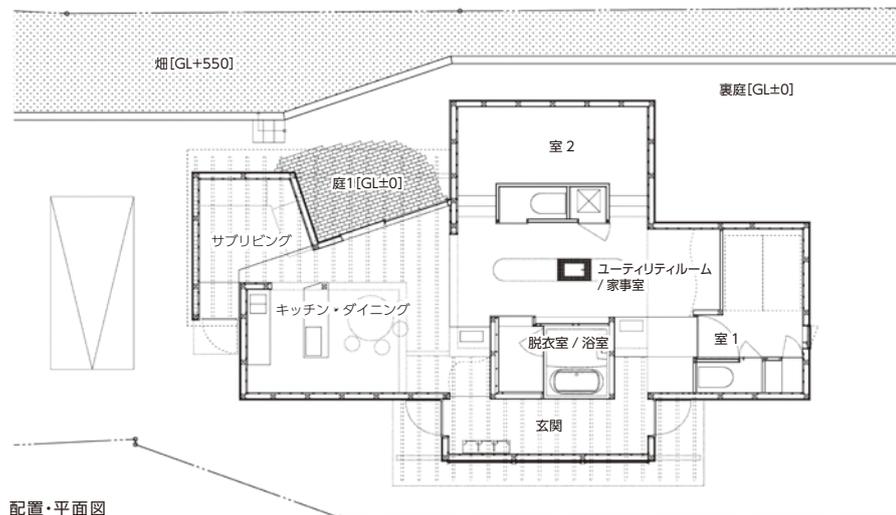


Photo by © 伊藤建太郎

平面図に現れることのない立体性をもつ住宅である。さまざまなサイズの箱がレベルを変えながら配置され、その中にも小さな箱が置かれる。さらに内部において大きな開口をもつので箱としての困窮感はわずかだ。規定しているはずだった段差も箱の領域を超えて他の部分へとつながっていく。また、箱が覆えない部分には片流れの屋根が補助的に現れ、外部への関係を取り結ぶ要素になる。こうして濃淡がつけられたワンルームに対する機能のレイアウトとして、特徴的なのはユーティリティが中心に置かれていることだ。そこでは各自の身繕いやアイロンなどの家事だけでなく、子供たちの宿

題が行われているという。キッチンもうひとつのコアとして大きな存在感を見せている。リビングはこぢんまりと傍に追いやられ、大きな玄関はもうひとつの身繕いスペースになっている。というように、特殊と言えば特殊だが、家事を中心にして考えると使いやすいととれるプランニングで、意外と無理がない。こうしたライフスタイルを支持する層は一定程度いそうなリアリティがあるし、楽しげである。設計者と建主の緊密なコミュニケーションが存在することでしかない充実した内容であった。(乾久美子)

事業主	匿名(個人)
設計者	澤伸彦建築設計事務所
施工者	銀杏開発株式会社
所在地	熊本市北区
竣工年月	令和7年(2025年)7月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	334.98㎡
建築面積	108.13㎡
延べ面積	100.32㎡



配置・平面図

推進賞
ペインターハウス



Photo by © YASHIRO PHOTO OFFICE

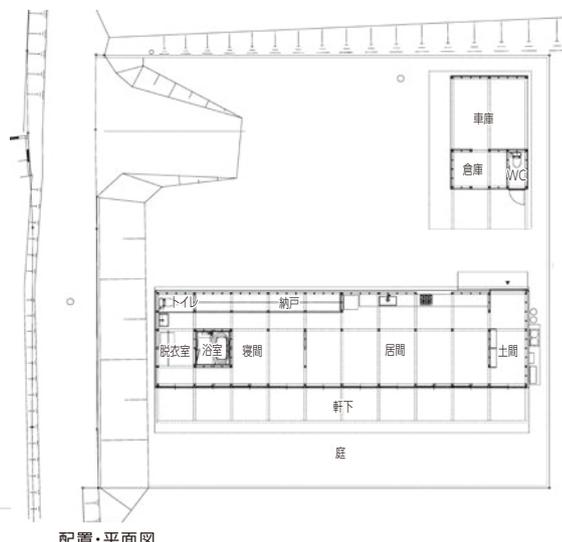
過不足ない、というのが、この住宅の特徴であり、また最大の美点である。敷地は、国道から逸れて、東に向けた砂利道を少し入った台地の縁にある。それより先は台地斜面地に残る林が続くばかり。建物は、そこが縁であることをそのまま可視化したように、南北に長く伸ばされ、東の斜面地のみを開く。東西断面で見ると、切妻が東に引っ張られ伸びた形をしていて、西側が10寸に対し15寸で上がっているのに対し、東側は6寸の勾配と緩い。西側は窓もなく壁ばかりの素っ気ない立面を見せる一方、東側は大きく屋根を持ち出し、2mほどの奥行きを軒下空間をつくりだしている。軒面にはツインカーボが使われ、そこから屋根裏に入る光を天井のア

ルミ塗装が室内に拡散させているため、深い軒であるにもかかわらず室内は明るい。大きな屋根裏空間は、木造トラスで構成されるが、使われる木材はすべて105角の製材と合理的。すべての設計判断が素直で、無理がない。そして、その設計を支えるディテールは緻密かつ正確で、施工もすばらしい。こうしてできた空間がそれでも、ミニマリストックな冷たさやすまし顔を持つのではなく、人の日常と等身大の性質を湛えていることも好ましい。実体を持った生活にそのまま呼応するような住宅空間のあり方を切り開くすぐれた住宅である。(青木淳)

事業主	匿名(個人)
設計者	矢橋徹建築設計事務所
施工者	有限会社熊本建設
所在地	熊本市北区
竣工年月	令和7年(2025年)7月
用途	一戸建ての住宅
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	480.96㎡
建築面積	132.57㎡
延べ面積	109.75㎡



断面図



配置・平面図



阿蘇五岳の雄大な山並みを間近に望む高森町。畑が残るのどかな住宅地の一角に、「デイセンター Casa昭和町」がある。外壁の木とコンクリートが程よく調和したモダンな建物が周囲に溶け込んでいる。

高森町の社会福祉法人・岳寿会が運営する二つのデイサービスセンターの一つで、要介護度が軽い利用者を対象にしているという。

2016年の社会福祉法改正で「地域における公益的な取組」が社会福祉法人の責務となった。岳寿会では、1人暮らしの高齢者向けの弁当作りなどに取り組んできた。デイセンター Casa昭和町も、地域との関わりを重視している。

施設は木造平屋のデイサービス棟とホール棟からなり、屋

根のかかったテラスでつながっている。ホール棟は地域の集会などにも開放。高齢者向け弁当作りのキッチンも備える。敷地内には、近くの高森高校に通う生徒のための自転車修理スペースを設けている。

本来の用途である福祉施設としても、利用者が心地よく過ごすことができるよう配慮されている。デイサービス棟とホール棟の室内は木をふんだんに使い、大きな窓から差し込む陽光とともに温かな雰囲気を醸し出す。窓からは阿蘇の山並みが見えるよう配置が工夫され、枯山水のような中庭も目を楽しませてくれる。敷地内には別棟として職員住宅がある。この建物も合わせて一体化すれば、さらにまとまりのある建築になったかもしれない。(富田一哉)

事業主	社会福祉法人岳寿会
設計者	株式会社セルアーキテクト
施工者	坂口建設株式会社
所在地	阿蘇郡高森町高森2013-14
竣工年月	令和6年(2024年)3月
用途	デイサービスセンター
構造	木造
階数	地上1階建
敷地面積	2168.39㎡
建築面積	649.84㎡
延べ面積	572.61㎡



須屋の家



CLT工法と在来軸組工法を合体させた建築家の自邸兼事務所。

敷地は穏やかな地形のある街の高台に位置するため、とても眺望が良い。また、自然地形に沿ったY字路に面しているが、周辺の多くの家が道路側に豊かな緑の庭を持ち、時間をかけて育まれた素晴らしい風景もある。ガラスをふんだんに用いることで、この周辺環境を十分に取り込むことができるのだから、この敷地で設計する機会を得たとすれば、多くの建築家はガラスを多用するだろう。一方で、昨今の住宅設計においてもはや基本条件となりつつある温熱環境に対する配

慮とガラスの多用をどう両立させるか。これもまた多くの建築家が共有する問いであり、そのための工夫の仕方にこそ建築家の視座が現れるのではないかと。

さて、「建築家の自邸」はこれまで数々の実験とチャレンジがされてきた。この住宅における実験の中心はCLT工法と在来軸組工法の合体であるが、CLTの幅を120という在来の寸法に揃えることで構造検討のしやすさを実現したこと、それにより施工のしやすさも獲得し、坪単価を衝撃的なほど縮減していることなど、展開可能性を秘めた大きな成果を上げている。今後の継続的な実践に期待したい。(中川エリカ)



2階平面図



配置・平面図

事業主	匿名(個人)
設計者	大谷一翔建築設計事務所
施工者	株式会社MIRAIPIECE 誠真建築
所在地	合志市
竣工年月	令和6年(2024年)7月
用途	事務所併用住宅
構造	木造
階数	地上2階建
敷地面積	205.31㎡
建築面積	78.66㎡
延べ面積	149.04㎡

熊本第一信用金庫 山鹿来民支店



新しい信用金庫のあり方を模索した熊本第一信用金庫の次世代型店舗である。これまでの山鹿支店と来民支店とを統合し、両地点の中間地点に新支店は建てられた。デジタル化の促進やキャッシュレス化にとまない事務スペースや客の待合スペースの削減等が可能になり、一方、相談で訪れる客に対応するための快適なコンサルティングスペースの充実が新店舗に求められた。

建築は、そういった要求に対してよく応えた。全体に大きな長方形平面のうち、両端にRC造のコアをつくり、両コアに木造充腹梁を格子状に組んだ屋根を架けて両コアの間を無柱の「がらんどう」とする明快な計画で対応した。コアは、セキュリティーが必要な職員が利用する書庫等のスペースで、コアの

間の「がらんどう」はカウンターのない事務・待合・相談スペースである。ここには、自由に移動・組み合わせができるテーブル・イスが配置され、うまく利用されている。

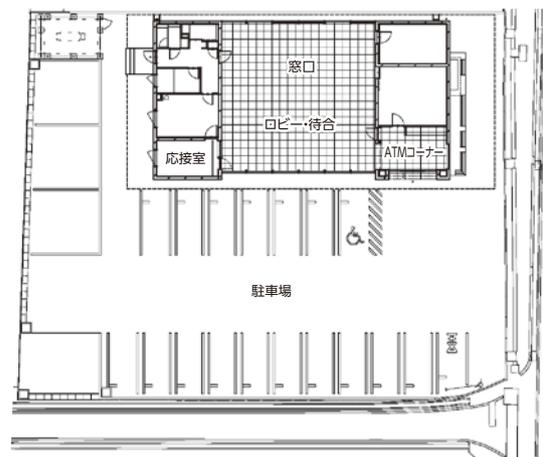
一方で、地域に寄り添う配慮も忘れていない。OSB型枠で打たれたRC造のコアの表情は温かい。大屋根は山鹿市の重要文化財・八千代座の格天井からの引用で、この地域らしさの表現である。表の国道325号線側には、屋根を張り出し、コアの外にベンチをつくってバス停の待合所をつくっている。

施主である信用金庫と設計者・施工会社が一丸となって、銀行とは違う信用金庫のもつべき地域密着型の新しい姿をあたりにした。(伊東龍一)

事業主	熊本第一信用金庫
設計者	株式会社セルアーキテクト
施工者	株式会社 Lib Work
所在地	山鹿市古閑1023-5
竣工年月	令和6年(2024年)9月
用途	銀行支店
構造	RC造一部木造
階数	地上1階建
敷地面積	1098.07㎡
建築面積	314.16㎡
延べ面積	283.66㎡



断面図



配置・平面図

くまもとアートポリス推進賞一覧

● 推進賞 ● 推進賞選賞

受賞施設一覧
詳細はこちら



第1回 1995年度

- 小国町立西里小学校
- 東陽村石匠館
- 八代広域行政事務組合消防本部庁舎
- 株式会社野田市兵衛商店流通団地営業所
- 清和物産館(四季のふるさと)
- 荒瀬ダムポートハウス
- 出田眼科病院
- 尚玄山荘

第2回 1996年度

- 社会福祉法人 慈愛園ノーマンホーム
- 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- ふるさとセンターY・BOX

第3回 1997年度

- 久連子古代の里
- 養護老人ホーム八代市立保寿寮
- 水俣市宮洗切団地
- 丸尾焼工房
- 人吉の舎II/平井邸
- 浮島周辺水辺公園

第4回 1998年度

- 老人保健施設 かがみ苑
- 熊本県信用保証協会八代支所
- HOUSE:H-M
- 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- 古閑邸
- 聖母の丘
- 宮原町下宮はまどん公園

第5回 1999年度

- 水上村立湯山小学校
- 中央町総合交流ターミナル「石段の里 佐侯の湯」
- 植柳新町公民館(地域学習センター)
- シルワ・エッセ
- 50M-櫛の森美術館
- 宮崎耳鼻科
- 矢野邸

第6回 2000年度

- やつしろハーモニーホール
- 城南の舎
- 中央町福祉保健センター「湯の香苑」
- ネクステージビル
- 熊本YMCA 阿蘇キャンブメインホール
- セカンドサイト
- 霧の斎場

第7回 2001年度

- 荏原九州
- K.Residence
- つなぎ美術館
- 稗田の舎
- ガレリアのある舎
- chase
- キューネット社員寮「希翔館」

第8回 2002年度

- 久野邸
- 立田山野外保育センター「雑草の森」
- 八代の町屋
- いのうえデンタルクリニック
- 大野温泉センター

第9回 2003年度

- 熊本保健科学大学
- I-HOUSE
- 熊本市現代美術館
- UEDA.Residence

第10回 2004年度

- 九州新幹線 新水俣駅
- S.W.H
- 田迎の家
- 東海大学付属第二高等学校
- ひだまりのまち B4

第11回 2005年度

- k-house in 近見
- 高瀬蔵
- 3 Towers
- 美里町立中央小学校体育館
- 玉名温泉つかさの湯
- 堀田眼科病院

第12回 2006年度

- 阿蘇の舎
- nina Dental Clinic
- 西の久保公園
- "B" -studio
- 永田歯科

第13回 2007年度

- H-court
- 熊本学園大学14号館(60周年記念会館)
- 城下町の住宅
- 多良木町交流館石倉
- グリーン、ツイード アンド カンパニー-アジア エンジニアリング センター
- Al mall
- コンバスポイント本社ビル

第14回 2008年度

- 障害者多機能型施設 高森寮
- B-house in 島崎
- ジャングルジムの家
- Chro-e#01(クローイー#01)
- ガーデンコートゆうかり
- 松木運輸株式会社
- しらさぎおざや
- 済生会熊本病院外来がん治療センター
- barn renovation

第15回 2009年度

- 畑の中の一軒家
- 川上酒店
- i-CUBE#01(アイキューブ#01)
- 光の森の住宅
- 桜木の家
- R-House in 梶尾
- YMC&A赤水保育園
- 熊本市下通2・3・4番街アーケード

第16回 2010年度

- 道と暮らす家
- 天草文化交流館
- C-HOUSE
- 芦北町立佐敷小学校
- 百年遺伝子の門
- T-house in 高森

第17回 2011年度

- 熊本市医師会館・看護専門学校
- 高瀬
- 宮原邸
- 嘉島の家
- 田園住宅(篠崎邸)
- I-apartment
- 松の湯
- 矢部の家
- Shipな家

第18回 2012年度

- 行徳眼科
- 八代の家
- 護岸の家
- 器季家カフェ
- 阿蘇くまもと空港国内線ターミナルビル
- 小規模多機能型居宅介護ハイマートの郷
- ユウハウス
- House-Sim
- ±5° SEPPAN BOX

第19回 2013年度

- 大江の舎/親誼書房
- T邸
- 風と共に
- 中九州クボタ本社・物流センター
- 南阿蘇原眼科
- 光影Archive/長洲の家
- 坪井の家
- 渡邊総合内科クリニック/高森わたなべ薬局

第20回 2014年度

- 沼山津の家
- House F, nagamine
- 湯浦温泉センター
- MA-HOUSE
- 供養普請の家(佐藤忠商店)
- 古代の風 黒の蔵-多良木町埋蔵文化財等センター
- 熊本市西区役所
- 旅館 心乃間間

第21回 2015年度

- Leeこどもクリニック
- 千丁の家
- 京町の家
- T.house in 武蔵塚
- 33' 46' 48"
- 玉東町の家
- 第一幼稚園
- 南阿蘇の小さな診療所
- 薬味筆筒の家

第22回 2017年度

- わかたけ保育園
- 再春館製菓所体育館サクラリーナ
- SA-HOUSE
- GALLERY FLOWER GARDEN
- 熊本県民テレビ新社屋

第23回 2018年度

- 錦ヶ丘の家
- 合志マンガミュージアム
- 川尻の町家
- MU-HOUSE
- 尚綱大学短期大学部附属こども園
- 園田教材社
- 町営住宅倉原団地

第24回 2019年度

- 川尻公会堂
- Y-HOUSE
- 地獄温泉青風荘,すずめの湯
- 地の舎
- 南阿蘇村買取型災害公営住宅馬立団地
- オモケンパーク
- 西原村買取型災害公営住宅山西団地
- にしきみつ基地ミュージアム(錦町立人吉海軍航空基地資料館)
- 滝尾幼稚園
- いてた平成眼科クリニック

第25回 2021年度

- 下江津の家
- そらいろ保育園
- PLAY FARM・ツリーハウス
- HIKE(ハイク)
- 八代市民俗伝統芸能伝承館(お祭りでんでん館)
- 益城町の事務所
- 切妻と土間の家
- 松橋の家
- 南阿蘇村買取型災害公営住宅 長陽西部団地・西原第2団地
- 地獄温泉 清風荘

第26回 2022年度

- 村川造園自宅
- N-HOUSE
- 神水公衆浴場
- 床と大地の余地
- ケアポート益城
- 上乃義通りのビルディング+
- 線景の家
- 南関町庁舎
- 岱明の家
- かつての森こども園

第27回 2023年度

- 商工クラブ葛籠(料理谷邸)
- 熊本県フットボールセンターCOSMOS
- 江津ハウス
- 本山の自邸
- 芳野旅館
- 布田・龍王社
- 北岡神社(舞殿・授与所兼神輿庫・八坂神社選擇所)
- 屋根下のサロン

第28回 2024年度

- 東海大学阿蘇くまもと臨空キャンパス
- 箱の家163(Y邸)
- 立野交流施設(立野駅)
- 熊本保健科学大学 レストラン ピリア
- 酒蔵の片隅で角打ち
- 垂玉温泉 瀧日和
- 天然記念物布田川断層帯(谷川地区)見学施設

第29回 2025年度

- 阿蘇神社御札所
- 甲佐町起業等応援施設 MEK&S
- 菊南の住宅
- ペインターハウス
- デイセンターCasa昭和町
- 須屋の家
- 熊本第一信用金庫 山鹿来民支店

第29回 令和7年度(2025年度)くまもとアートポリス推進賞概要

趣 旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上を図るとともに、文化の情報発信地としての熊本を目指して、優秀な建築家やデザイナーの才能・アイデアを結集し、機能面はもとよりデザイン面にも優れた、後世に残る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

その一環として、「くまもとアートポリス推進賞」では、建築文化に対する関心を高めるため、平成7年(1995年)から県内各地の優れた建造物等を表彰しています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む。)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く。)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| ① ②～⑥の評価ポイントがデザインに反映され、優れているもの | ⑤ 地域づくりに寄与しているもの |
| ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの | ⑥ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの |
| ③ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの | ⑦ 良好な施工が行われているもの |
| ④ 施設の活用に創意工夫がみられるもの | ⑧ 維持・管理が良好なもの |

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。事業主(必要に応じて管理者を含む。)、設計者及び施工者に知事が表彰します。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

青木 淳 / AS共同主宰

伊東 龍一 / 熊本大学名誉教授

乾 久美子 / 横浜国立大学大学院Y-GSA教授、乾久美子建築設計事務所主宰

坂口美由紀 / Comodo arts project代表

富田 一哉 / 熊本日日新聞社編集局文化部長

中川 エリカ / 中川エリカ建築設計事務所主宰

選考経過

募 集 令和7年(2025年)6月2日(月)～8月1日(金) 応募30件

書 類 選 考 9月11日(木)

現 地 審 査 10月14日(火)～15日(水)

最 終 選 考 10月15日(水) 推進賞4件、推進賞選賞3件

表 彰 式 令和8年(2026年)1月28日(水)



熊本県土木部建築住宅局建築課

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1
Tel.096-333-2537 Fax.096-384-9820

くまもとアートポリス    

発行者：熊本県
所属：建築課
改訂第2版
発行年度：令和7年度(2025年度)